

令和8年度 学校経営方針

杉並区立松ノ木中学校長 田中 太介

I 教育目標

<p>東京都教育委員会教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間 	<p>松ノ木中学校教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学ぶ人 ・心の豊かな人 ・たくましい人 ・責任感のある人 	<p>杉並区教育ビジョン2022</p> <p>～みんなのしあわせを創る杉並の教育～</p> <p>共に尊重し、大切にしたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び合い、信頼をつくり、共に生きる ・ちがいを認め合い、自分らしく生きる ・誰もが社会の創り手として生きる 	<p>一人ひとりが教育の当事者として心がける視点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの思いを尊重する 2 ちがいを受け入れる 3 対話を大切にする 4 学びの成果を贈り合う 5 社会を創る当事者として考える <p><学び合い・教え合い・かわり合う></p>
--	---	---	--

II 本校の特色

VUCA時代への対応 松ノ木中学校に関わる人々のウェルビーイングを追求

本校は周囲を都立和田堀公園や善福寺川で囲まれた閑静な住宅地に立地する。地域のつながりが強く、開校当時の卒業生が近隣に多く住まわれている。平成25年度から「地域運営学校」として学校運営協議会が学校運営の一翼を担い、PTA、学校支援本部等と連携して学校の運営にあっている。さらに地域教育連絡協議会との連携を図り、子どもの健全育成を進めている。

近年は恵まれた周辺環境を生かした環境学習の実践や環境サミットでの発表活動を行い、青少年委員の協力のもと、地域でのボランティア活動実績を積み重ねている。教育課程にSDGsの視点を積極的に取り入れ、「持続可能な社会の担い手」を育むための活動を推進している。予測不可能な未来へ対応するための思考力、判断力、実践力の育成を行い、社会に貢献できる力を育てている。

また小中連携の視点を大切にし、地域振興、地域防災等を中心とした「地域の役に立つ人材」の育成に系統的に取り組んでいる。

「平和とは何か」を自分事として考え、自らに関わる全ての人のしあわせを希求する精神と人格形成、そして正しい知識の獲得と行動力・判断力を身につけることを目標に掲げ、その教育を実践していく。

III 学校経営の理念 「平和の希求 ～持続可能な社会の担い手の育成～」

「学校は安心・安全で楽しい場」という意識を共有し、次の「ま・つ・の・き」を大切にして学校経営を行う。

ま 「満面の笑み」で日々を過ごせる場	<安心・安全、達成感>
つ 「つながり」から考えを広げる場	<話し合い、連携>
の 「能動的な学び」で自らを成長させる場	<主体性、自分事の学び>
き 「気づかい」でみんなの居場所を作る場	<多様性、道徳心、人権尊重>

1. 生徒にとってかけがえのない中学校生活を謳歌させるため、①友、②先生、③打ち込むもの、④感動、との出会いを大切にする。その中で、生徒一人ひとりが自ら考え、判断し、行動することにより、その結果についても真摯に受け止め、成長することを支援する。これらのことにより、「学校が楽しい」「入学してよかった」と生徒が真に思える松ノ木中学校を創っていく。
2. 保護者・地域と一体となって、生徒に豊かな学びの場や多くの体験の機会を提供し、学習・生活の向上意欲を高めるとともに、将来の望ましい生き方を見い出せる学校を目指す。
3. サービスの厳正に努めつつ教職員が組織的に教育的課題に取り組み、自身の成長を促すための研修を計画的に進め、質の高い教育を提供することで、生徒・保護者・地域の信託に応えて、公立学校の使命を全うする。
4. 令和8年度は授業時数特例校として、SDGsの達成に向けた「環境・防災」「国際理解」「平和」への意識をさらに高める。

IV 本校教育を推進する11の鍵

1. 健全育成
 - ・差別、偏見、いじめ、暴力を許さず、思いやり、助け合いの心を育み、安心・安全で規律と落ち着きのある学校づくりに努める。
 - ・基本的な生活習慣の確立、挨拶・正しい言葉遣いの励行、多様な生き方を尊重できる人間関係の構築と社会性を養う。
 - ・各種調査（アンケート、発達検査、WebQU等）を活用し、生徒理解を基にした生徒指導と教育相談の充実に努める。

- ・人権尊重の精神で生徒指導は個別に穏やかな口調で行い、過ちを受け止められるように指導する。
- ・対話型授業を推進し、生徒が主体的に考え、判断する力を育成し、自己調整力の獲得を図る。

2. 学力向上

- ・教室環境の整備（UD）、1人1台専用タブレット端末等のICT機器の積極的活用等を通し個別最適化した学習を提供する。
- ・各種学力・学習調査や授業アンケート等の結果を分析し、授業改善に努める。
- ・定期考査前の「マイルーム松ノ木」への参加促進、自己調整学習期間を活用した家庭学習の習慣化を図る。
- ・朝読書を始めとして、各教科において学校図書館の活用を進め、読書習慣の定着を図る。

3. 豊かな人間性

- ・「特別の教科 道徳」の授業において、考え、議論する場の設定を充実し、道徳的判断力を育成する。
- ・学校行事、委員会活動など、生徒が主体となって取り組むことができる活動を充実し、自己肯定感を育む。
- ・生徒会活動、委員会活動、学級活動、班活動等における主体的な活動を通して、自治の意識を高める。

4. 進路指導・キャリア教育

- ・キャリア・パスポートの活用を通して、将来の生き方を考え、適切な進路を選択する能力を育てる。
- ・社会の一員としての自覚、役立つ人材としての意識をもたせるために、職場体験の事前・事後学習を充実し、望ましい勤労観、職業観を育むとともに、生徒が自己の適性を探究し、職業を通じて社会に貢献しようとする意欲を培う。
- ・進学に向けた計画的に指導し、目的意識をもった志望校選択を促し、各々のキャリア形成の端緒を築く。

5. 環境教育

- ・地球環境の問題について専門家の知見を得る機会を設定し、自ら判断して行動に移そうとする態度を育成する。
- ・生徒と教員が一体となって環境保全の意識を高め、持続可能な社会の実現に向けた具体的なアクションを行う。
- ・すぎなみ環境ネットワークや町会、青少年委員等と連携し、地域の環境について意欲的に学び、地域貢献活動を行う。

6. 防災教育

- ・避難所開設訓練や地域の防災訓練、避難訓練、校外学習等を通して、防災学習・体験を行い、防災意識の向上を図る。
- ・消防署等と連携した救急救命講習を実施し、救命技能認定証の取得等により、自助・共助の意識と態度を培う。

7. 特別支援教育

- ・校内研修会および校内委員会での情報共有・協議を活発化し、必要な生徒に必要な支援や対応がなされるよう体制を組む。
- ・学びの教室やSCやSSWのほか、子ども家庭支援センター、病院等の外部機関と適切に連携し、課題解決に積極的に取り組む。

8. 小中連携教育

- ・堀之内小、松ノ木小と連携し、学習指導、生活指導、特別活動等の情報交換を行う。防災について綿密に連携し、体制を整える。

9. 総合的な学習の時間の充実

- ・授業時数特例校として各教科等との関連を意識した教育実践を行っていく。1年：環境・防災、2年：国際理解、3年：平和をテーマに設定し、3年間を通した学びを通して、持続可能な社会の実現に向けた知識・経験の獲得、多面的な思考力と判断力を養う。
- ・各学年のテーマに沿って外部の専門家等を講師として活用して教育内容の充実を図り、生徒および教職員の能力向上を図る。

10. チーム「松ノ木」

- ・学校運営協議会、学校支援本部、PTA等との定期的な会合、保護者会やtetoru、学校ホームページ、各種文書での情報提供を行い、積極的な情報交換や意見交流を図って、誰もが「満面の笑顔」で過ごせる松ノ木中学校を共に創っていく。
- ・保護者、学校運営協議会等の学校評価の実施と評価に基づく改善を進める。
- ・青少年委員、町会、近隣の教育機関等と連携し、生徒がボランティアとして地域貢献し、活躍できる場の創出を行う。
- ・区有財産である学校施設の積極的活用で地域の学校としての認識を高めるため、関係機関と連携し適切な運用について検討する。

11. アイディアの結集

- ・“笑顔”で毎日を終えるための課題とその解決策を広く募り、学校関係者評価委員会の提言を踏まえ、組織力の向上を図る。
- ・教職員全体で杉並区立学校全校研究に取り組み、対話と協働を基にした持続可能な学校を目指し、働き方改革を推進していく。
- ・「学校は安心・安全で楽しい場」、「ま・つ・の・き」の実現に向け、松ノ木中を愛する皆さんの自由闊達なアイデアを集める。